

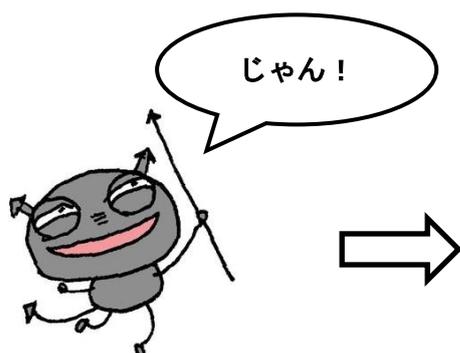
# とびひのお話



夏は虫に刺される機会が多くなりますよね。

“かゆみ”は小さなお子様にとってなかなか我慢できないものです。

かきむしったところにばい菌がつくと…



※伝染性膿痂疹（とびひ）

## 『とびひ』になってしまいました！！

### ◆ 『とびひ』ってなに？

『とびひ』の本名は『伝染性膿痂疹』といいます。

細菌（常在菌）が皮膚の小さな傷に入り込み感染することで発症します。

水ぶくれやただれが、あっという間に全身の皮膚へ広がる様子が、火事の火の粉が飛び火する様子に似ているため『とびひ』と呼ばれています。

『とびひ』のところを触った手でほかの皮膚を触ったり、水ぶくれの汁がほかの皮膚に付くとうつります。もちろん 他のお友達にもうつしてしまいます。

『とびひ』はかゆみや痛みを伴うことがあります。

ひどくなると全身の皮膚に広がり、発熱やリンパ節の腫れなどが起こると、入院が必要になることもあります。

## ◆ 日常生活で心がけることは？

普段から傷やかゆみのない、健やかな皮膚を保つように心がけましょう。

また、原因となる細菌を減らすために皮膚を清潔に保つことも大切です。とくに夏場は汗をかきやすい時期です。汗をかいたらこまめにシャワーを浴びましょう。

虫刺されや傷になったところにバンドエイドを長時間貼っておくと、細菌が繁殖しやすくなり『とびひ』になることが多いので、バンドエイドはこまめに貼り替え、皮膚の状態を確認しましょう。

また、お風呂に入るときはバンドエイドをはずして、傷や虫さされのところも石けんでしっかり洗いましょう。その際はごしごしと擦らずに、しっかりと泡立てた泡を手にとってやさしく洗い、しっかりシャワーで流しましょう。

『とびひ』はタオルでうつることもあります。ご家族とはタオルなど併用しないようにしましょう。



心配なことがございましたら、  
お気軽にご相談ください。

